

事業所名

放課後等デイサービス 太白だんだん

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

23日

法人（事業所）理念		全ての人が住み慣れたまちで自分らしく、ともに生き、ともに暮らすことのできる「共生のまちづくり」を進めます。					
支援方針		「「ただいま」「おかえり」の音が響く みんなのおうち太白だんだん」 私たちは、こどもたちを真ん中に、共に日常生活や社会生活を営むことができるよう、ご本人および保護者の意向を丁寧に把握し、将来を見据えた支援をします。多様な遊びや学び、体験活動を通じて楽しむ力、生きる力を育みます。					
営業時間		10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の把握、検温・手洗いの励行、排泄、身だしなみ等の基本的な生活習慣が身につくようにサポートします。楽しく食事ができるよう、必要に応じた食事介助をします。また、季節に応じた室温調整、換気を行い、必要に応じて着衣の調整にも配慮しています。療育ルームを構造化し、活動に応じた分かりやすい空間づくりをしています。					
	運動・感覚	運動・動作能力の向上、姿勢保持、感覚特性（感覚の過敏や鈍麻）を把握、遊びを通して楽しく運動できる場をつくり、サポートします。近隣の自然環境や公共の遊具を活用し、季節による変化を感じ視覚などの感覚を十分に活用できるようサポートします。					
	認知・行動	環境や状況を把握し、理解につながるようサポートし、自らの適切な判断や行動につながるできるようサポートします。そのために見通しや時間等を手がかりとして活用します。コミュニケーションの困難から生じる行動障害の予防に取り組み、適切な行動へ導けるような態度と声かけを行います。					
	言語 コミュニケーション	興味・関心等に応じて、表情や身振り、筆記、文字盤、絵カード、写真、言葉によるコミュニケーションを用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要なことをサポートします。個々に配慮された場面において、相手と同じものに注意を向けたり、その行動や意図を理解・推測するといった行動の獲得や場面に応じた言動・対応など、人との関わり方について学んだり、コミュニケーション能力の向上のためのサポートを行います。障がいの特性に応じた読み書きの向上のためのサポートを行います。					
	人間関係 社会性	信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感、人に対する信頼感を育めるよう環境を整えサポートを行い、安心できる居場所「安心基地」となる関わりを育んでいきます。隣接する小規模保育園部門、生活介護部門、就労B型事業所の3つの部門と多様な関わりをもち積み重ねていきます。					
家族支援		ご家族と子どもたちの育ちの共有をし、思いや意思に添いながらその一助となるような環境の整備に努めます。（延長支援・相談援助・支援事業所との連携）		移行支援		必要に応じて児童発達支援や卒業後の進路先と協議し、切れ目のない支援につとめています。	
地域支援・地域連携		地域に開かれた事業（健康体操教室・ポッチャ部等）を通じて、地域の一員として関わりをもちます。児童館や支援事業所等と連携し、子どもたちやご家族が地域と関わりをもって暮らしていくネットワークをつくります。		職員の質の向上		定期的にサポート会議を開き、支援内容について協議共有しています。障がい福祉の研修を受講しています。	
主な行事等		朝の会 帰りの会 ともの会 音楽療法 ヨガ教室 放課後等デイ合同運動会 だんだんピック ポッチャCUP 全館合同夏祭り オリエンテーション 卒業を祝う会 避難訓練 ※ 健康体操教室 ポッチャ部					